

令和4年度
自動車事故による高次脳機能障害者の方に向けた
「社会復帰促進事業」
好事例集

令和6年3月

物流・自動車局 保障制度参事官室

はじめに

- 高次脳機能障害特有の症状として、社会的行動障害や記憶障害がありますが、適切なリハビリテーションを受けることで社会復帰につながる可能性があります。一方、頭部外傷を治療する病院や自立訓練を提供する事業所はあるものの、入院中は患者にとって守られた環境下での生活となるため、高次脳機能障害が概して目立たず、発見されないことがあるほか、高次脳機能障害に理解のある事業所も多くない状況にあります。また、高次脳機能障害の発見が遅れる場合や適切な自立訓練を受けられず、高次脳機能障害を有する者が社会復帰できない状況も生じています。
- このため国土交通省では、自動車事故による高次脳機能障害者の社会復帰の促進に向けた方策を検討することを目的として、高次脳機能障害への十分な理解がある自立訓練事業所が行う、高次脳機能障害の把握から自立訓練、地元復帰まで切れ目のないサポートの取り組みを支援するモデル事業（社会復帰促進事業）を令和4年度に4地域、令和5年度に7地域において実施しております。
- 今般、令和4年度の4地域における取組を好事例集としてとりまとめましたので、ご紹介します。
- 今後、これらの事例を参考にして、自動車事故被害者を支える地域における関係者間のネットワークの構築、高次脳機能障害への理解促進、高次脳機能障害に合わせた自立訓練の提供の取組が縦横に展開されることを期待しております。

自立訓練事業所（機能訓練・生活訓練）において行われるモデル事業において、以下の3つの取組を実施

1. ネットワーク構築

高次脳機能障害に対する医学的な評価を行う病院と退院後に通所が想定されるモデル事業を行う自立訓練事業所とのネットワークを構築することにより、病院と事業所がそれぞれ得意とする観点から、自動車事故による高次脳機能障害者の評価を行い、協力して病院退院後のコーディネートを目指す取組。

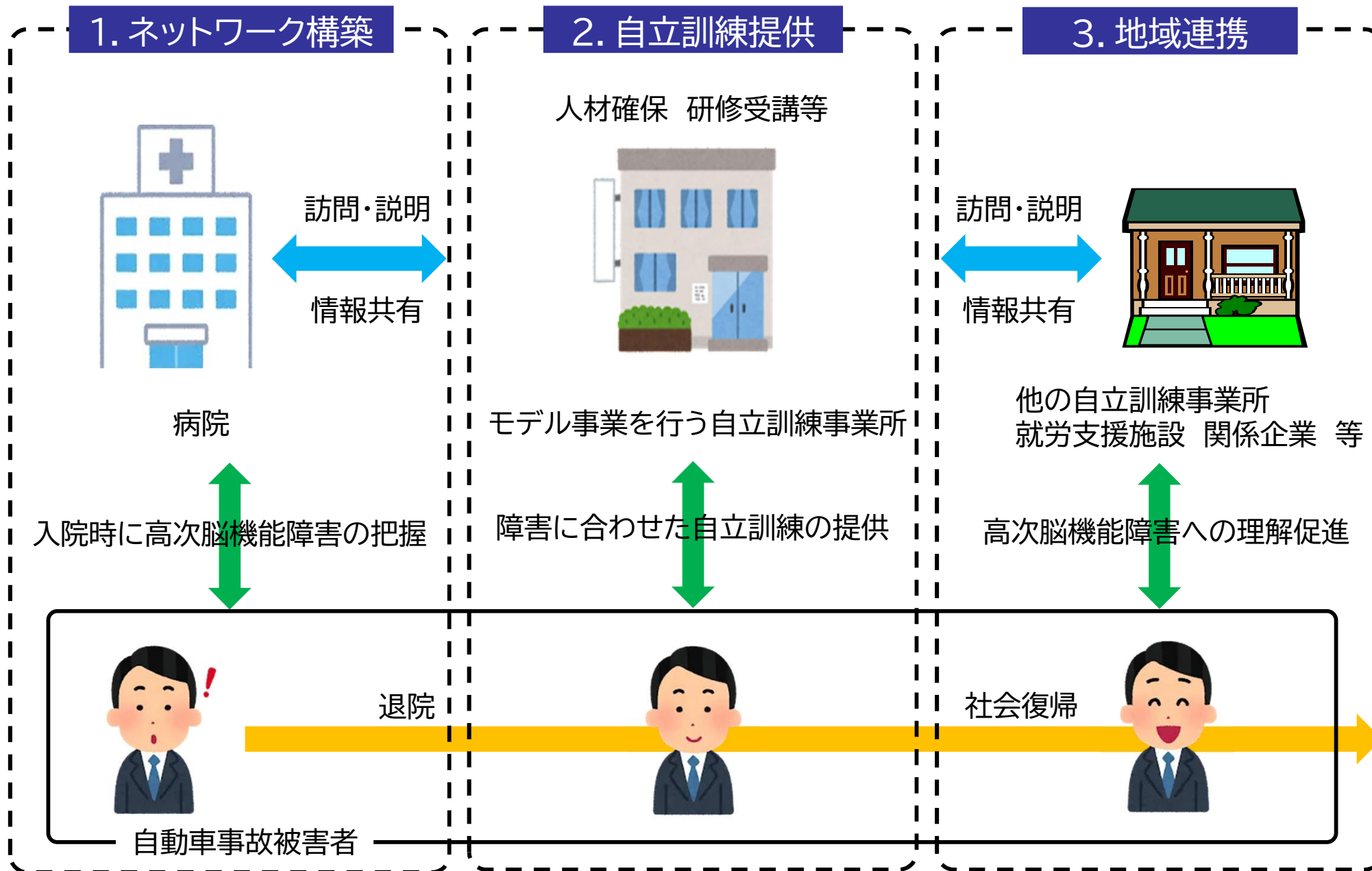
2. 自立訓練提供

モデル事業を行う自立訓練事業所において、高次脳機能障害に対応できる専門的知識を有する者による機能訓練・生活訓練を提供できるよう安定的な人材確保及び職員の研修等の受講によるスキルアップを目指す取組。

3. 地域連携

モデル事業を行う自立訓練事業所とその地域における他の自立訓練事業所や就労支援施設、関係企業と連携することにより、高次脳機能障害者の地域における生活への円滑な移行を目指す取組。

モデル事業（社会復帰促進事業）の概要



モデル事業者の概要

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

所在地:千葉県千葉市緑区誉田町1-45-2

運営法人:社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団

提供サービス:

自立訓練(機能訓練・生活支援)

就労移行支援事業

就労定着支援事業

施設入所支援事業

短期入所事業



職員数:40名(常勤換算35名)



名古屋市総合リハビリテーションセンター

所在地:愛知県名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1-2

運営法人:社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

提供サービス:

自立訓練(機能訓練)

自立生活援助

施設入所支援

就労移行支援

就労定着支援

職員数:55名



奈良県障害者総合支援センター

所在地:奈良県磯城郡田原本町大字多722

運営法人:社会福祉法人奈良県社会福祉事業団

提供サービス:

自立訓練(機能訓練・生活支援)

施設入所支援

短期入所支援



職員数:30名



かがわ総合リハビリテーションセンター

所在地:香川県高松市田村町1114

運営法人:社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団

提供サービス:

自立訓練(機能訓練・生活支援)

就労移行支援

施設入所支援

就労定着支援

短期入所

職員数:35名



詳細についてはQRコードより各施設のホームページにてご確認いただけます。

1. モデル事業者における病院とのネットワーク構築事例の概要

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- 病院では、退院後の患者情報が無く社会参加の評価が困難であることから、病院に対して「地域連携シート」を活用した情報共有を行った。
- これにより、病院は今後の治療方針や地域移行を決める際の情報を入手できるようになり、患者の社会復帰・退院後の社会参加イメージを持つことができるようになった。

名古屋市総合リハビリテーションセンター

- 自立訓練所のスタッフが病院を訪問し、直接入院患者に退院後の自立訓練に関する相談を受ける「退院後フォローアップ支援」を実施することで、病院側のメリットを創出。
- 自立訓練所のスタッフが病院退院後の患者からの相談に対応し、患者ご本人の同意の下、病院側の希望に応じて「退院後フォローアップ支援」の結果を病院へフィードバックした。

奈良県障害者総合支援センター

- 県の高次脳機能障害支援体制検討委員長(専門医)より、県における高次脳機能障害の認知度が低いため普及・啓発を中心に活動すべきと助言を受けて、「認知度向上のためのリーフレット」を作成。
- ネットワーク構築用のリーフレットには患者からの相談に対応する専用ダイヤルの他、「オンライン利用相談申込フォーム」を記載し、病院や患者から気軽に相談できるツールを周知。

かがわ総合リハビリテーションセンター

- 県内の急性期病院を中心に訪問することで自動車事故を起因として高次脳機能障害を負った方のその後の「行先を調査」し、実態把握に努めた。
- 病院では患者に対する就労支援、運転再開支援の必要性を感じているが入院中は対応できないことから、病院で受けることが難しい自立訓練施設での支援をまとめた「PR用チラシ」を作成。

1. モデル事業者における病院とのネットワーク構築事例

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

「地域連携シート」について

●取組内容

1. 32カ所の病院を訪問
2. ネットワーク構築支援の説明資料作成
訪問時に事業を説明するため、説明資料を作成
3. 連携シート(フィードバックシート)の試作
 - ① 自立訓練の支援内容(経過)がわかること
 - ② 病院から社会復帰したときの評価ができることを目標に作成
4. 連携シートへの要望や効果について相談
病院訪問時に実際の連携シートを持参しフィードバックを実施し、病院から連携シートに係る意見を聴取。

●病院からの意見

1. 連携シートの効果
「自分の患者を自立訓練所に送った後のことが気がかりだった」「患者が自立訓練でどのような経過を辿り社会復帰に至ったかを共有いただいたことで、入院中に病院で対応すべきことが分かった」
2. 連携シートへの要望
「就労移行などへ移行した場合は、可能な限りその後の状況を知りたい」

●取組の課題・改善点

1. 福祉サービス窓口である医療機関のMSWの人事異動を考慮して、定期的な連携・広報が必要
2. 病院から地域の事業所まで連携できるよう一貫した連携パスが必要
3. 連携シート内容について、病院が必要とする情報と自立訓練所が伝えたい情報に差があるため、病院協力の下、改良する必要がある。

障害福祉サービス地域連携シート(紹介元フィードバック用)

紹介元 船橋総合病院

記載日 2022/08/31

利用者基本情報												
利用者氏名	様					性別	男	生年月日	歳			
居住地	千葉県船橋市											
原因疾患	外傷性くも膜下出血					主な障害	右半身しびれ					
キーパーソン	本人基礎情報					柄						
保険種別						労状況	未就労					
身障者手帳						障害支援区分	区分なし		要介護度			
更生園利用情報												
利用サービス	生活訓練		通所支援		(事業移行)							
利用開始日	2021/01/07		利用終了日	2022/08/31		支援日数	601 日					
支援の帰結	生活場所	在宅		単身生活								
	日中活動											
	福祉サービス	就労										
	地域医療機関	船橋	地域移行先									
FIM HDS-R	入園時	ADL	55	認知	24	合計	79					
	退園時	ADL	69	認知	22	合計	91	HDS-R	/30点			
機能評価	Br. st	上肢	下肢	手指	10M歩行	快適	最大	移動形態	評価日			
	右				歩数(歩):							
	左				Time(秒):							
	TMT	TMT-A:	63.2	秒	/ 誤り	0	年齢平均	40代Av.=30.3±7.5秒				
		TMT-B:	138.3	秒	/ 誤り	0	年齢平均	40代Av.=49.0±11.9秒				
日常生活動作	移乗	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助					特記:					
	棟内移動	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助					特記:					
	食事摂取	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助					特記: 自身で調理するも偏りがみられる					
	口腔清潔	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助					特記:					
	入浴	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助					特記:					
	衣類着脱	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助					特記:					
	意思伝達	☒ 自立 ☐ 見守り ☐ 一部介助 ☐ 全介助					特記: 思うように伝えられないこと有、配慮があるとい					
	危険行動	☐ ある ☒ ない ()					ADL・IADL状況					
	方法	日中: 自立 夜間: 自立										
	尿意	☒ あり ☐ 不明確 ☐ なし					特記:					
排便	☒ あり ☐ 不明確 ☐ なし					特記:						
失禁	☐ あり ☐ 不明確 ☒ なし					特記:						
動作	☐ あり ☐ 不明確 ☐ なし					特記:						
介護保険						再認定時期:						
相談支援担当者	ケアマネージャー					障害福祉						
						介護保険						

1. モデル事業者における病院とのネットワーク構築事例

名古屋市総合リハビリテーションセンター

「退院後フォローアップ支援」について

●取組の背景

病院との関係づくりを考えたときに「ネットワークを作りたい」という自立訓練所側の思いだけでは、病院側が繰り返し訪問対応のための時間を設けることが現実的には難しいため、病院側のメリットを創出する必要があった。一方、現状認識が不十分なまま退院していく患者については、急性期・回復期とも退院後の生活に不安を抱いており、そのニーズに応えるため、退院後のフォローを実施することとした。

●取組の効果

1. なかなか退院後の支援につながらない方に対して退院後フォローアップ支援もあることを説明し、病院を訪問して、病院との関係づくり及び病院側の自立訓練の理解を深めるアプローチを行った。
2. 自立訓練所の職員が病院を訪問して直接相談を受けることで、自立訓練に関する詳細な情報を入院患者さんへ直接提供し、患者家族にとっても有用な機会となった。
3. 相談の結果、自立訓練の利用方向で進む可能性が高い傾向を確認。(相談を受けた7名中5名が施設見学に進む)

●取組の課題・改善点

愛知県内には回復期リハビリテーション病床をもつ病院が66カ所あり、自立訓練に対する理解度の差や限られたマンパワーの中で、今後どここの病院とネットワークを太くしていくか戦略を立てる必要がある。

資料1

退院後フォローアップ支援のご案内

～自動車事故被害者支援体制等整備事業（社会復帰促進事業）～

名古屋市総合リハビリテーションセンターは、国土交通省の社会復帰促進事業の一環として、高次脳機能障害のある方の退院後の生活についての相談や助言等を行います。

対象者

自立訓練の利用が推奨される以下のすべてに当てはまる方

- ① 高次脳機能障害の方（診断を受けている方）
- ② 愛知県内の医療機関に入院中の方
- ③ 退院後愛知県内に住む予定の方

※頭部外傷のほか脳血管障害・脳炎・低酸素脳症・脳腫瘍の方々も対象となります

相談内容

退院後の生活へのスムーズな移行のための相談

- 所得保障に関する相談
- 生活（居住・移動・外出等）に関する相談
- 就労に関する相談
- 日中活動（福祉サービスの利用等）に関する相談 等

支援の流れ

相談まで

現在入院中の医療機関スタッフから申し込みいただきます。

- ・ご希望や支援に関してのご質問等ありましたら、まずは医療スタッフへお伝えください。
- ・医療機関スタッフを通じてセンターへ連絡がありましたら、相談予約をさせていただきます。

説明・契約

- ・センタースタッフが、ご本人が現在入院中の医療機関に訪問して支援についての説明を行います。
- ・支援希望の場合は契約となります。契約期間は原則受傷・発症日から1年半とします。

相談

- ・センタースタッフが、居宅、センター、電話等で相談に応じます。
 - ・退院後にお困りごとがあれば、ご連絡いただければと思います。各種制度等の情報提供をさせていただきます。
 - ・センタースタッフよりフォローアップの一環として定期的にご連絡させていただきます。
- 例：①入院中 ②退院後1カ月 ③退院後3カ月 ④退院後6カ月 ⑤退院後12カ月または18カ月

報告

- ・支援のネットワーク構築のため、入院されていた医療機関が希望した場合は相談支援の結果報告をさせていただきます。
- ※ご本人が医療機関への結果報告を望まない場合はお申し出ください。

名古屋市総合リハビリテーションセンター

TEL：052-835-4005 FAX：052-838-9105

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2（1階総合相談室）

<受付時間>

9:00～17:00
月曜～金曜日
(祝日、振替休日及
び年末年始を除く)

名古屋市総合リハビリテーションセンターは、医療から福祉までの一貫した支援を行うとともに、愛知県の高次脳機能障害支援拠点機関として、高次脳機能障害のある方やそのご家族への専門相談や、高次脳機能障害の正しい理解についての普及啓発、地域での支援体制確立のための研修開催等を行っています。

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

1. モデル事業者における病院とのネットワーク構築事例

奈良県障害者総合支援センター

「認知度向上のためのリーフレット」について

- 病院及び患者等から相談を受け付ける手段として新たにスマホなどから利用できる「オンライン利用相談申込フォーム」を作成し、利用促進に繋げる取組を開始。
- 相談内容により、併設の高次脳機能障害支援センターに繋ぐなど患者に必要な支援を実施。

リーフレット

①表面

高次脳機能障害の特徴的な症状を記載し、病院スタッフの気づきに繋げることを訴求。

②裏面

病院でのリハビリ・療養後、福祉的支援に繋がる選択肢の存在を訴求。

A4三つ折りリーフレット表面

交通事故にあつてから、こんな症状はありませんか？

記憶面

- 新しいことが覚えられない
- 同じことを何度も聞く など

注意面

- 気が散りやすく集中力にける
- うっかりミスが多くなった など

実行機能面

- 優先順位がつけられず、段取りが悪くなる
- 一つひとつ指示がないと行動できないなど

行動面・感情面

- 怒りっぽい・イライラしやすい
- こだわりが強くなった など

言語面

- 言葉が出てきにくい
- 話を聞いても、理解しにくい など

上記のほかにも、多様な症状があり、また症状の現れ方は、一人ひとり、さまざまです。

国土交通省 自動車事故被害者支援体制等整備事業 (社会復帰促進事業)

当施設について

施設名称: 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

住所: 〒636-0345 奈良県磯城郡田原本町大字多722

お問い合わせ

TEL・FAX **0744-32-0209**
(受付時間 10:00~16:00)

Email: narareha-jikun@nara-sfj.or.jp

「オンライン利用相談申込フォーム」
利用のご相談は、こちらのQRコード
からお申し込みください。

当施設へのアクセス

<交通機関>

- 近鉄田原本駅・無料送迎バス約10分
- 又はタクシー約10分
- 近鉄草加駅...1.3km 徒歩約20分
- 近鉄八木駅...タクシー約15分

<車でアクセス>

- 西名阪道路山下つ道JCTより奈良自動車道橋原方面へ入り、三宅IC出口から約10分
- 国道24号線(千代南)交差点を西進約5分

ネットワーク構築支援事業

交通事故にあつてから、頭がすっきりしないことがありませんか？

こんな症状はありませんか？

- 考えがまとまらない
- 以前できていたことに時間がかかるようになった
- 忘れっぽくなった

奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

オンライン利用相談申込フォーム(抜粋)

自立訓練オンライン利用相談申込フォーム

奈良県社会福祉事業団 奈良県障害者総合支援センター 自立訓練センター

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

* 必須の質問です

こちらは、奈良県障害者総合支援センターの機能回復を目的とした自立訓練サービスの利用相談窓口です。

当センターは、障害をお持ちの方へ、自立訓練(機能訓練・生活訓練)サービスを提供しています。

ご利用は、入所または通所が可能です。

また、短期入所でのご利用も可能です。

随時、相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

はじめに基本情報をご記入ください

1. ご相談者様のお名前をご記入ください*

回答を入力

2. ご相談者様の連絡先(電話番号)をご記入ください*

回答を入力

3. メールアドレスをご記入ください

回答を入力

4. ご相談者様は次のどの項目にあたりますか。チェック(☑)してください

- ☐ ご本人・ご家族
- ☐ 病院・医師
- ☐ 相談支援事業所
- ☐ 福祉事務所・市町村担当課
- ☐ 高齢者施設
- ☐ その他

5. ご利用を検討される方とのご関係をご記入ください

- ☐ ご本人
- ☐ ご家族
- ☐ その他

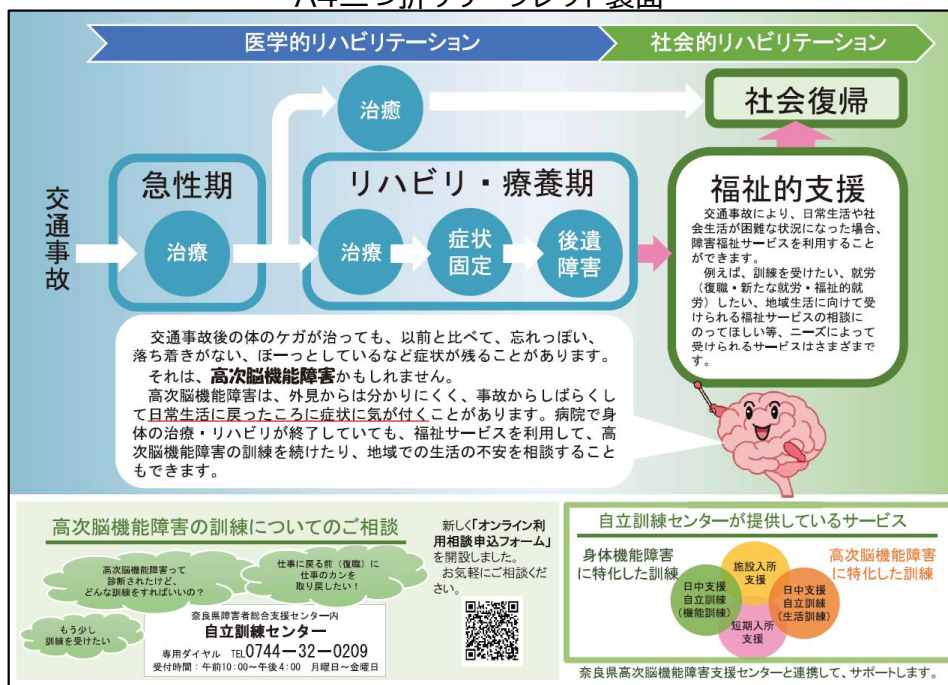
8. ご相談を希望される理由をご記入ください

- ☐ 脳血管疾患による後遺症がある
- ☐ 交通事故などによる後遺症がある
- ☐ 高次脳機能障害、または、その疑いがある
- ☐ その他

9. 簡潔で結構です。わかる範囲でご利用を検討される方の身体の状態をご記入ください。

例) 脳梗塞が原因で左半身に麻痺がある

A4三つ折りリーフレット裏面



1. モデル事業者における病院とのネットワーク構築事例

かがわ総合リハビリテーションセンター

「行先調査」について

- 交通事故後の怪我が重症な患者は2次救急・3次救急に搬送される。急性期病院では、入院期間が短縮されている傾向にある中で、治療が何よりも優先され、高次脳機能障害の評価・リハビリまで行う時間がない。そのため身体面・認知面においてのリハビリが必要と感じた患者については、ほとんど回復期病院につないでいる。一方、軽度な患者は救急搬送されたとしても、病院の環境ではあまり困りごとがみられず、急性期の病院で退院し、就労支援や運転再開などの社会参加にむけたリハビリテーションの機会が提供されることなく、地域生活を送っていると推察される。

「PR用チラシ」について

- 急性期・回復期病院から退院する高次脳機能障害の方が適切なリハビリテーションを受けられるように、病院に対しては、病院では難しい高次脳機能障害の評価や患者退院後のバックアップ体制を、患者・ご家族に対しては、自立訓練のプログラムを紹介する内容とした。

【A4サイズ病院向けPRチラシ】

社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団

高次脳機能障害者に対する フォローアップ支援のご案内

かがわ総合リハビリテーションセンターは、事故や病気などで高次脳機能障害になった方の退院後の生活に向けてのフォローアップとして、次の2つの支援を行います。

支援その1 スムーズな家庭生活や職場復帰ができるためのプログラムを提供します
かがわ総合リハビリテーション成人支援施設では、病院でのリハビリテーションを引継ぎ、以下のようなことを行います。

- 高次脳機能障害や失語の改善や、代償手段の獲得のためのトレーニング
- 業やお金の管理、調理や家事などの身の回りの行為の自立に向けたトレーニング
- 外出や買い物、交通機関の利用など社会生活の向上に向けたトレーニング
- 自動車運転再開のためのトレーニング
- 復職・就労に向けてのトレーニング、職場との調整
- 生活場所や日中の過ごし方を共に考える、趣味や生きがいを見つける、などの支援

上記のサービスは、患者様が、かがわ総合リハビリテーション成人支援施設の自立訓練、就労移行支援の各事業を利用することにより提供するサービスです。利用には、入所による利用と通所による利用があり、通所利用の場合は一部送迎を行っています。また、入所利用の場合でも、「回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準等」の「自宅等に退院する割合」の「自宅等」の扱いとなります。

支援その2 退院後の生活に向けて、病院スタッフの皆様をバックアップします
高次脳機能障害の相談窓口の担当者が、病院スタッフの皆様が以下のような支援を行います。

- 退院後の生活や日中活動、就労・復職などに関する相談対応
- 高次脳機能障害についての詳しい検査
- 自動車運転再開のための相談支援、評価
- 障害者手帳、年金の手続き等、制度やサービス利用等に関する情報提供や相談対応
- 高次脳機能障害に関する研修会、事例報告会の開催、講師派遣
- その他、病院スタッフの方の困りごとなどに対する助言・援助

※病院を訪問しての患者様、ご家族への直接の相談支援・情報提供も行います。
※既に退院した後の患者様や通院患者様についてのご相談も受け付けます。

本事業は、国土交通省の「令和4年度自動車事故被害者支援体制等整備事業（社会復帰促進事業）」の一環として行っています。

お問合せ先 **かがわ総合リハビリテーションセンター**
〒761-8057 高松市田村町1114番地
Tel 087-867-8422 Fax 087-867-0420 (担当:上川 高木)

【A4サイズ患者・ご家族病院向けPRチラシ】

社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団

事故や脳卒中などで 脳にダメージを受けた 患者様、ご家族様へ

ご相談ください

事故や脳卒中などの病気になると、脳に何らかのダメージを受けた場合に、記憶力や注意力の低下、段取りなど”の遂行機能の低下、意欲の低下や感情をコントロールできなくなったりする、いわゆる「高次脳機能障害」という症状が表れる場合があります。高次脳機能障害は、入院中に直ぐには気付かずに、家庭や職場に帰ってから困りごとが起きることで気付く場合が多くあります。また、患者様ご本人より、ご家族の方が気付かやすいのが特徴です。

かがわ総合リハビリテーションセンターでは、そうした「高次脳機能障害」についての相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

■ 主に以下のような相談に対応します。

- 高次脳機能障害かどうか知りたい
- 家庭での生活や職場での困りごとに関すること
- 自動車運転の再開に関すること
- 障害者手帳、年金の手続き等、制度やサービス利用等に関すること
- その他の相談

■ また、かがわ総合リハビリテーションセンターでは、成人支援施設（サンホープ）において、スムーズな家庭生活や職場復帰ができるために以下のプログラムを提供しています。

- 高次脳機能障害や失語の改善や、代償手段の獲得のためのトレーニング
- 業やお金の管理、調理や家事などの身の回りの行為の自立に向けたトレーニング
- 外出や買い物、交通機関の利用など社会生活の向上に向けたトレーニング
- 自動車運転再開のためのトレーニング
- 復職・就労に向けてのトレーニング、職場との調整
- 生活場所や日中の過ごし方を共に考える、趣味や生きがいを見つける、などの支援

これらのサービスに関することもお気軽にご相談ください。

お問合せ先 **かがわ総合リハビリテーション福祉センター内
高次脳機能障害相談窓口**
〒761-8057 高松市田村町1114番地
Tel 087-867-8422 Fax 087-867-0420

相談時間
9:00～17:00
月～金曜日
(祝日・年末年始は除く)

2. モデル事業者における自立訓練提供事例の概要

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- 社会的生活自立度評価(SIM)を用いることで利用者の目標達成に必要な能力にあわせたプログラム提供の検討を可能とした。
- 退園後(6ヶ月間以上)、地域における課題を迅速に把握するため、月1回以上積極的に本人・家族、地域支援者への連絡を実施。

名古屋市総合リハビリテーションセンター

- 近年の「8050問題」にいわれる高齢単身世帯や身寄りのない単身者が増加傾向であり、プログラムによるアプローチを強化することで、職員個人のケースワーク力に依存せず提供する支援の質をできるだけ均一にすることを狙いに以下3種類のグループワークを実施。
 - ①単身向けグループワーク
 - ②若者グループワーク
 - ③遂行機能グループワーク失語症がある利用者へは支援ツールを活用。

奈良県障害者総合支援センター

- 県の高次脳機能障害支援体制検討委員長(専門医)より、県における高次脳機能障害の認知度が低いため普及・啓発を中心に活動すべきと助言を受けて、「認知度向上のためのリーフレット」を作成。
- 自立訓練提供用のリーフレットについては、生活訓練と機能訓練の別で作成し、自立訓練の利用促進のため、自動車事故による高次脳機能障害の方の具体的な利用ケースを掲載した。

かがわ総合リハビリテーションセンター

- これまでグループ学習の機会を持っていたが、実施項目や、他のプログラムとの連動が不十分だったため、学習会と日常生活、他のプログラムとの連動性を高めることで、より高次脳機能障害者にも対応できる社会生活力プログラムを参考に、学習過程を学習会に生かす形のプログラムを再構成。

2. モデル事業者における自立訓練提供事例

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

社会的生活自立度評価(SIM)について

●概要

厚生労働科学研究にて開発した社会生活における自立度評価表を用いて自立度を可視化し、社会復帰に必要な支援や達成度を把握し効率的な支援を実施。

●取組の成果

自立訓練卒業者の終了時評価表から社会参加状況の特性を可視化したことにより、当該評価データを参考に利用者の目標達成に必要な能力にあわせたプログラム提供の検討が可能となった。

生活介護に移行する方は 合計40点未満
就労継続B型に進む方は 合計40点以上
就労継続A型に進む方は 合計60点以上

といった傾向が確認できたが、母数が少ないため、整合性や妥当性については引き続き検証する必要がある。

●取組の課題・改善点

評価データのさらなる蓄積、比較・分析を進め、妥当性と正確性を高めていくことで支援の質を向上させる必要がある。

自立訓練事業所退園後のフォロー

●取組の成果

当初、相談に対して消極的だった方が、定期的に連絡を取ることによって、ご本人から進んで相談のため来所されるようになった。

●取組の課題・改善点

訪問や電話連絡だけでなく、IT、ICTを活用した新たなフォローアップ方法を検討し実用化する必要がある。

社会的生活自立度評価(SIM)の項目と採点基準

	項 目		点数		SIM利得
			利用時	終了前	
毎日の社会生活を維持するための項目	1. 健康管理	必須			0
	2. 金銭管理	必須			0
	3. 身の回りの管理	必須			0
	4. 買い物(買い物先までの移動を除く)	必須			0
	5. 家事活動(調理含まず)	選択			0
	6. 調理	選択			0
	7. 生活のセルフマネジメント	必須			0
社会の一員として積極的に参加するための項目	8	(1)公共交通機関を利用しての外出 (2)自動車運転	1つを選択		0
	9. 人間関係	必須			0
	10. 仕事/学校	選択			0
	11. 余暇活動	必須			0
	12. 日中活動	必須			0
共通項目	13. 制度・サービス活用	必須			0
合計(10~91)					

※ 除外項目は斜線

採点基準(以下は目安である。具体的には各項目の採点基準を参照)

自立	継続自立	7点	安定性や対応力が高い自立レベル
	自立	6点	現段階で自立している場合 (店員や窓口担当等に問い合わせる等、通常ある人的資源の活用を含む)
部分的支援が必要	見守り	5点	(見守り、時々 の 促しや 助言が必要)
	最小援助	4点	(75%以上自分で行う)
	中等度援助	3点	(50%以上75%未満自分で行う)
全面的な支援が必要	最大援助	2点	(25%以上50%未満自分で行う)
	全面援助	1点	(25%未満しか自分で行わない)

※ 7点、6点は、自助具の活用、自らが選択、利用、指示、調整して介助サービス等を利用する場合が含まれる
※ 実行状況の評価であるため、利用者の意思や意欲は大いに加味される。能力はあるが実行の意思が低く声かけが必要な場合も5以下となる。

2. モデル事業者における自立訓練提供事例

名古屋市総合リハビリテーションセンター

グループワークの実施について

- リハ専門職がグループワークに携わることでより専門的な見地を加え、生活支援員と共同で実施することで、ケースを通じて密に連携。
- ① 単身向けグループワーク(生活支援員)
家事と金銭管理をテーマに全3回開催し延べ13名参加。
第1回 今までの振り返る
第2回 職員から情報提供、利用後の生活を考える
第3回 考えたことを共有、整理して今後の取り組みにつなげる
- ② 若者グループワーク(臨床心理士＋生活支援員)
全7回開催し、3名参加。
先天的な障害又は幼少期の受傷により社会性が十分でない方の自信づけをはかる。
- ③ 遂行機能グループワーク(作業療法士＋生活支援員)
全3回開催し、3名参加。
遂行機能に関する理解の促進や外出計画を立て実施、振り返りを行うことで障害の認識を進める。
- 取組の課題・改善点
グループワークを実施する上で、失語症がある利用者に対しての支援が未確立であるため、会話やワークシートを使用するグループワークでは、絵・写真・仮名等失語症のある方が取り組みやすい資料を作成する必要がある。失語症のある方が疎外感を得ないような進め方についても課題。グループワークの取組みをその後のケースワークにつなげていく仕組みが必要。具体的にはグループワーク前後の情報共有や、単身生活に移った後、自立生活援助の訪問支援を通じて、生活上実践できているか確認すること等が必要。

グループワーク資料例

症状	エピソード例
注意障害	不注意によって購入したかった物と別の物を購入してしまう
記憶障害	買ったことを忘れて同じ物を購入してしまう。 買い物でいくら使ったのか覚えていない
遂行機能障害	計画的にお金を使うことができない
欲求コントロールの低下	欲しい物があると我慢できずに買ってしまう 我慢できずにスマホゲームの課金をしてしまう
固執性	特定の物や事にハマって、生活に支障が出るくらい多額のお金をつぎ込んでしまう
対人技能拙劣	相手の言葉をそのまま受け取って、悪徳商法に騙されてしまう

⇒対処法をみんなで考えてみましょう！

2. モデル事業者における自立訓練提供事例

生活訓練利用ケース紹介

機能訓練利用ケース紹介

奈良県障害者総合支援センター

認知度向上のためのリーフレット

- 県内に高次脳機能障害に特化した施設がほとんど存在しないため、受皿拡充と訓練の効果検証を公表すべく、障害への理解促進を図るためのリーフレットを作成。

①表面

自動車事故により高次脳機能障害を負われた方が自立訓練を利用することとなったケースを具体的に記載することで自立訓練の目的が伝わるよう配慮。

②裏面

基本的な訓練に加えて、当施設独自の新規事業としてスポーツレクリエーションを導入し、スポーツを通じたコミュニケーションに重点を置いた訓練メニューを訴求。

生活訓練の内容紹介



機能訓練の内容紹介



利用ケース紹介

地域生活を基盤としながら、一般就労へ

30代 男性
交通事故外傷性頸椎損傷
左上肢機能障害3級
両下肢機能障害2級

医学的リハビリテーションを経て、地域を基盤にしなが、就職活動を行う。一人での就職活動に限界を感じ、身体機能維持の目的で訓練を受けるために、通所にて当施設を利用開始。

移動能力と上肢機能の向上のためのプログラムに参加。基礎的なプログラム訓練を通じて、就労に必要な体力面・パソコン技能面での課題に直面。さらなるステップアップを図るために、応用訓練を追加。

これまでに就労経験のない業種の会社への就職活動も積極的に実施しているときに、縁があり、身体障害に理解のある地域の一般企業への就職を果たす。

ADLの向上・移動能力の向上により、自宅復帰へ

40代 男性／外傷性くも膜下出血
両上肢機能障害6級
体幹機能障害2級

交通事故後、医学的リハを終了したものの、身体機能障害により自宅での生活が困難となる。

そこで、家族との地域生活に向けて、施設に入所しながら、入浴動作訓練・歩行訓練などに取り組む。その結果、施設内は杖歩行、入浴は一部介助ではあるがその他は自立となる。ただ、慎重な性格もあり、自宅での生活の不安を感じており、外泊には消極的。実践移動訓練や社会適応訓練なども並行して実施したところ、これまでの訓練成果を確認でき、不安感が減少。

1年半の利用を経て、在宅生活に移行。

国土交通省自動車事故被害者支援体制等整備事業
(社会復帰促進事業)

利用ケース紹介

復職がうまくいかず、当施設利用後に一般企業への就労

20代 男性
交通事故による脳挫傷
高次脳機能障害

交通事故後に、注意力と記憶力の低下がみられたものの、病院のリハビリ終了後に復職。

復職後に仕事上でのミス指摘されることが増え、奈良県高次脳機能障害支援センターに相談。

ご本人が訓練の必要性を感じ、当施設にて、グループ脳トレを受けられた。訓練を通じて、ご自身の認知機能の特性に気づき、また同じような境遇の仲間との出会いにより、徐々に仕事への自信を高める。

訓練と平行して、就職活動を行い、他府県の一般企業に就職が決まった。

一旦地域へ戻るも、就労への思いを叶えるために訓練に励み、福祉的就労を果たす

30代 男性
交通事故による外傷性くも膜下出血
高次脳機能障害

交通事故後に、高次脳機能障害と診断され、地域の生活介護施設を利用。

“就労”への希望が諦めきれず、奈良県高次脳機能障害支援センターに相談。意欲低下と生活リズムの改善を図るために入所しながら、認知機能の改善だけでなく、就労に必要な基礎体力の改善にも取り組んだ。

就業・生活支援センターとも相談しながら、地域の就労継続支援(B型)へ移行し、さらなるステップアップを目指す。

国土交通省自動車事故被害者支援体制等整備事業
(社会復帰促進事業)

2. モデル事業者における自立訓練提供事例

かがわ総合リハビリテーションセンター

学習プログラム(グループワーク)の再構成

● 取組の背景

自立訓練については、これまで健康管理や食生活、各種制度・サービスについて、グループで学習する機会を作っていたが、他のプログラムとの連動が十分ではなかった。

● 内容

高次脳機能障害にも対応した社会生活力プログラムマニュアルを参考に、モジュールを再構築し、学習会に生かす形のプログラムを作成。日常の困りごとを意識しにくい、ため、モジュール毎に日常生活の振り返りを行い、グループで学習する中で自らの状況を認識できるように配慮できるものとした。

● 取組の課題・改善点

集団適応ができない方への支援に対応できていないため、受入の幅を広げることを目的とし、自立訓練施設へ気軽に相談できるような関係づくり、バックアップ体制の構築と周知の必要がある。

再構成した学習会のモジュール

学習会

目的：利用者の社会生活力の向上

テキストを元に学習を進めていく中で、障害認識、主体性、自己決定力を高めるとともに、活用できる知識や体験を増やし、自分らしい生活を考えていけるようにする。

高次脳機能障害にも対応した「社会生活力プログラム・マニュアル～自分らしく生きるために～」(2020年3月中央法規)を参考に、そのモジュールを再構成し、学習過程を学習会に活かす形でプログラムを作成した。



目次	I 基本編	モジュール 3 セルフケア	第3部 自分と障害を理解する	モジュール 18 外出・余暇活動
	第1部 総論	モジュール 4 生活リズム	モジュール 11 自分の理解	モジュール 19 地域生活・社会参加
目次	第2部 障害ごとの留意点等	モジュール 5 安全・危機管理	モジュール 12 障害の理解	第5部 自分の権利をいかに
	II 実践編	第2部 自分の生活をつくる	モジュール 13 人間関係	モジュール 20 社会保障制度
目次	効果的な実践方法と評価方法	モジュール 6 金銭管理	モジュール 14 コミュニケーション	モジュール 21 障害福祉制度・サービス
	第1部 生活の基礎をつくる	モジュール 7 すまい	第4部 地域生活を充実する	モジュール 22 介護保険制度・サービス
目次	モジュール 1 健康管理	モジュール 8 掃除・整理	モジュール 15 教育と学習	モジュール 23 支援の活用
	モジュール 2 食生活	モジュール 9 買い物	モジュール 16 就労生活	モジュール 24 権利の行使と擁護
目次		モジュール 10 服装	モジュール 17 恋愛・結婚・子育て	

学 習 会	設定	・グループ固定 4月、6月、8月、10月、12月、2月開始の6G編成 1G（利用者9～10、職員2名+ケース担当）×6G ・時間枠 週に2枠（1枠1時間）設定、1枠に3G同時に行う 場所は3会場 ・内容 1年で、全モジュールを実施、そのうち1モジュールのみじっくり行う ※以下の表について、以上の設定条件でできるよう、項目、内容、工夫点等検討してください。				
	モジュール番号	モジュール項目	1回目	2回目	3回目	4回目
	1	1,4 健康管理（服薬、生活リズム含む）※認知系は爪切り等整容を含む	振り返り	学習	シート作成	発表
	2	2 食生活（調理は調理訓練で実施するため含まない）	振り返り	学習	シート作成	発表
	3	5 安全・危機管理（自然災害のみ）	意見交換	学習	依頼書作成	発表
	4	6 金銭管理（社会保障制度含む）	意見交換	学習	外部講師	振り返り
	5	9 買い物	意見交換	計画	買い物	振り返り
	6	11,12 自分の理解、障害の理解	振り返り	学習	将来像作成	発表
	7	16 就労生活（導入）	意見交換	学習・計画	見学	振り返り
	8	18 外出・余暇活動	意見交換	計画	外出	振り返り
	9	19 地域生活・社会参加(オリジナル)	意見交換	学習	外部講師	振り返り
	10	21,22,23 制度・サービス（障害・介護）※「支援の活用」含む	意見交換・学習	学習・計画	訪問・講師	振り返り

3. モデル事業者における地域連携事例の概要

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- 高次脳機能障害は、障害実態が見えにくいという特性があることから、自立訓練サービス利用者の移行先事業所(4カ所)を都度訪問し、高次脳機能障害者の障害特性について情報提供を実施。
- 「全国障害者リハビリテーション研究集会」にて高次脳機能障害者への支援をテーマにしたシンポジウムを開催し、地域の事業所に対して高次脳機能障害への理解を促進したほか、「千葉県機能訓練事業所連絡会」を開催し、現在抱える高次脳機能障害者支援の課題検討を実施。

名古屋市総合リハビリテーションセンター

- これまで高次脳機能障害の拠点機関として地域連携を支援してきたところ、さらに強化し、目的・対象者別にケース会議、主催研修・見学会等を重層的に開催するとともに研修講師派遣を行い、地域における高次脳機能障害支援の連携先との関係構築に努めた。主催研修では自動車事故が受傷原因である事例を取り上げた。
- 関係者との連携にあたっては、これまで当センターで作成してきたガイドブックや新たに当センターで刊行した書籍等を活用して高次脳機能障害の啓発・広報を実施。

奈良県障害者総合支援センター

- 県の高次脳機能障害支援体制検討委員長(専門医)より、県における高次脳機能障害の認知度が低いと普及・啓発を中心に活動すべきと助言を受けて、「認知度向上のためのリーフレット」を作成。
- 地域連携用のリーフレットについては、当事業所の実施する電話相談・事業所訪問といった地域生活支援事業と、他の事業所や企業に向けた研修会開催などのバックアップ体制とともに実際の活用事例を掲載。

かがわ総合リハビリテーションセンター

- 地域の就労継続支援B型、生活介護等事業所を訪問し、自立訓練所の行う事業説明・高次脳機能障害者支援を周知するとともに地域の事業所における困りごとについてヒアリングを実施。また、地域において高次脳機能障害に関わる職員を対象に講習会を開催。
- 訪問にあたって、①地域の事業所の皆さんに対する支援②地域で相談支援に携わっている方への支援を記載したチラシを作成し、自立訓練所におけるバックアップ体制について周知した。

3. モデル事業者における地域連携事例

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

研究集会等の開催による高次脳機能障害への理解促進

●取組内容

以下のとおり、研究集会を開催し、機能訓練事業所30施設89名、生活訓練・就労継続B型・相談事業所等21施設23名が参加。

●取組の成果と課題

地域の事業所における自立訓練及び高次脳機能障害への認識が低かったことから継続した周知が必要。県内の自立訓練事業所における高次脳機能障害者の受け入れ状況やサービス内容に差があることから、基本的な質の担保と事業所間の連携強化が課題。

障害者の社会参加を支援する自立訓練事業について学ぶ唯一の全国大会

全国障害者リハビリテーション研究集会2022

社会の動向に対応した、社会リハビリテーションのあり方を考える
～未来に対応できる質の高いサービス提供を目指して～

2022年11月10日(木) 11日(金)

3年ぶり!千葉市で開催します

【ハイブリッド開催】
会場 美浜文化ホール
WEB参加 ZOOM

参加申し込み(先着順) | 2022年10月3日(月)～10月31日(月)

10日(木)

10:00 開会式(受付9:30～10:00)
10:20 基調講演「先天性疾患に対する生涯を通じたリハビリテーション」
金沢障害者自立訓練事業所協議会会長 田中健司氏 千葉リハビリテーションセンター 自立支援部長 芳賀孝徳氏
11:30 行政説明「障害者支援施設整備の動向」
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部次長 自立支援課長 社会参加活動支援推進室 周藤方丈様
13:30 研究発表

11日(金)

9:30 全国自立訓練事業所協議会活動報告(受付9:00～9:30)
10:00 特別講演 厚生労働省研究報告「自立訓練における社会リハビリテーションプログラムとその評価方法」
研究代表者 千葉リハビリテーションセンター センター長 船地地久氏
シンポジウム「自立訓練における社会リハビリテーションの効果について」
[シンポジスト] 茨城県リハビリテーション専門協議会理事 新藤泰生氏
名古屋市総合リハビリテーションセンター 生活支援課長 松尾健氏
千葉リハビリテーションセンター 更生課 自立支援課長 坂田宏氏
自立訓練ご利用者様、ご家族様
[アドバイザー] 和洋女子大学 専攻福祉学科 専任教授 高木麗恵氏
[司会進行] 千葉リハビリテーションセンター センター長 船地地久氏

詳細・お申込み

主催 全国障害者自立訓練事業所協議会 後援 千葉県/千葉市/千葉県社会福祉協議会/千葉市社会福祉協議会
申込・お問合せ 〒266-0005 千葉県千葉市緑区新田町1-45-2 千葉リハビリテーションセンター 更生課
TEL 043-291-1831 (代表) FAX 043-291-1849 (直通) E-mail reha-ken2022@chiba-reha.jp

11月10日 13:30～17:00

研究発表(分科会)

プログラムに関する取組み
地域移行等の取組み
就労支援・その他に関する取組み

日本国内で一人目の新型コロナウイルス感染症患者が確認されたのが、2020年1月のことです。
4月7日には7都府県に緊急事態宣言が発令され、その後全国へ感染が拡大しました。私たち、自立訓練事業所では、感染対策を行いながら、社会参加や地域移行を支援するという、非常に難しい対応を迫られました。外出や外泊の制限、通所と入所の分離、行事や研修会の中止など…。さまざまな工夫や努力の積み重ねは、新しい道を生み、芽を育てます。苦境の中においても、さまざまな花を咲かせるように、3年間の取組みを発表し、共有し、未来に向けて自立訓練事業をさらに発展させていきたいと思います。

研究集会参加申し込みについて

(1) 申込期間 令和4年10月3日(月)～10月31日(月)
※定員になり次第、締め切らせて頂きます
(2) 参加費 一人 7,000円
(3) 申し込み方法
・必要事項を記入の上、大会事務局までFAXまたはmailでお申し込み下さい
(4) その他
・詳細については下記URL(千葉リハビリテーションセンターホームページ)を参照されるか、直接事務局までお問い合わせ下さい
「更生園からのお知らせ」を参照: <https://www.chiba-reha.jp/kouseien/>

以下にご記入いただき、お申込み下さい

大会事務局行き 千葉リハビリテーションセンター 更生課 (担当: 原、藤原、幸内)

FAX: 043-291-1849 mail: reha-ken2022@chiba-reha.jp

フリガナ			
施設名	フリガナ	資料送付先	〒
TEL	FAX	e-mail	

*大会参加に必要な範囲内の個人情報提供について、同意のうえ、以下の通り申し込みます。

No	氏 名/フリガナ	職 種	参加方法	備 考
例	千葉 花子 (チバ ハナコ)	生活支援員(社会福祉士)	現地 or Web	車椅子
1				
2				
3				

※新型コロナの感染拡大によりハイブリッド開催とさせていただきます。

※希望される参加方法をお選び下さい。(途中で変更される場合は開催10日前までに事務局へご連絡下さい)

1日目、2日目で参加方法を変える場合は備考欄にお書き下さい。

3. モデル事業者における地域連携事例

名古屋市総合リハビリテーションセンター

会議・研修・見学会等の開催による連携強化

●取組の背景

高次脳機能障害に対する支援は、医療から始まり、行政、福祉、教育、就労支援機関等の幅広い関係者が関わっていることから、それぞれのニーズに即した研修を通じて連携を深め、人材を育成する必要がある。

●取組内容

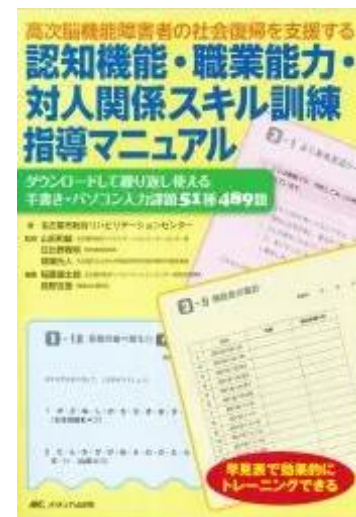
多様なニーズに応えるため、ケース会議のべ100件、基幹相談支援センター等職員向け研修37機関39名参加、医療・福祉関係者向け高次脳機能障害支援者養成研修35機関35名参加、医療・福祉／行政関係者向け施設見学会5回 等を開催したほか、ガイドブック等を活用して高次脳機能障害について啓発・広報を実施。

●取組の成果・課題

上記の取組により地域における連携先との関係を深めた。
 今後は、研修を開催できていない地域や支援機関に対してニーズを確認して実施していく必要がある。

○活用した書籍3種類

高次脳機能障害者の社会復帰を支援する 認知機能・職業能力・対人関係スキル訓練指導マニュアル
 メディカ出版
 令和2年2月発行



高次脳機能障害のある人の地域生活
 中央法規出版
 平成29年1月20日発行



高次脳機能障害のある人に「伝わる説明」便利帖
 中央法規出版
 令和5年2月20日発行



○活用したガイドブック3種類とツール

自動車運転支援



就学支援



失語症支援



失語症 会話支援お願いカード（二つ折りカードサイズ）



3. モデル事業者における地域連携事例

奈良県障害者総合支援センター

認知度向上のためのリーフレット

●取組内容

県内の自立訓練事業所に加え、地域での生活支援の中心となっている市町村役場、社会福祉協議会、保健所を訪問し、リーフレットを活用して高次脳機能障害への地域生活支援の必要性を説明し、地域における高次脳機能障害の認知度向上を目指した。

●取組の成果と課題

ご本人の障害受容を進めてから、次のサービスに繋げて欲しいとの意見があり、障害受容を進める上で周りの支援者・家族の理解は不可欠であるため、今後、自立訓練でご本人の障害受容が進む支援が課題。高次脳機能障害の受け皿が少ない、専門のスタッフがない自立訓練事業所が多いことから高次脳機能障害の診断等ができる機関の周知、研修の開催による知識の普及を進める必要がある。

表面 地域でのサポート事例を紹介

裏面 地域でのバックアップ体制を紹介

地域生活支援事業 活用例

地域の企業で、はじめて障害者
枠で採用されたAさん

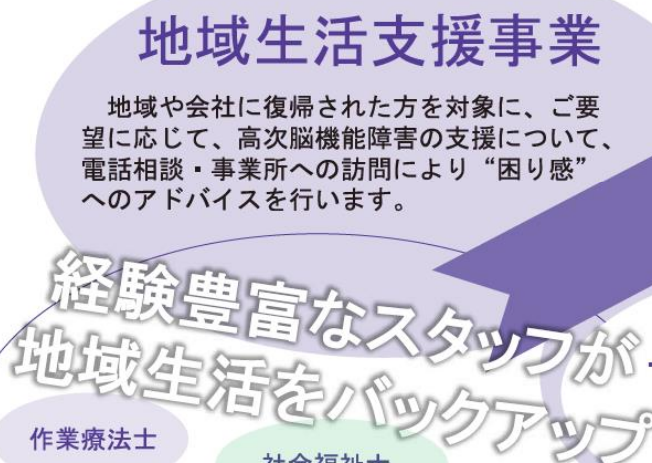
30代 男性
交通事故による脳挫傷
高次脳機能障害

交通事故後、注意力と記憶力の低下が見られた。病院でのリハ終了後に復職するも、以前のように仕事ができず、違和感を感じたご家族が奈良県高次脳機能障害支援センターに相談し、生活訓練を受けることになった。

グループ脳トレや就労前訓練を受ける中で、高次脳機能障害の知識を得るも、“もともと苦手だから”とご自身の認知機能の特性の変化を受け入れにくかった。しかし、職員や利用者同士の交流が深まる中で、今現在の自分の能力を感じ、今の自分に必要なスキルを身につけることの大切さに気がつく。その後、障害者就業・生活支援センターとも連携し、退所後は、地域の企業に障害者枠で就職を果たすことになった。

しかし、その企業で高次脳機能障害の方を受け入れることが初めてであったため、ご本人にどのような業務や職場環境を提供すれば良いかわからないという相談が当施設にあった。生活訓練担当・社会福祉士・心理担当職員が、本人の認知機能の特性の説明、本人が取り組みやすい職場環境・作業工程や指示の出し方の工夫などのアドバイスを行い、障害者就業・生活支援センターとも連携を密にしながら、ご本人の長期的な就労をサポートした。

国土交通省自動車事故被害者支援体制等整備事業
(社会復帰促進事業)



研修会

基礎研修
(福祉サービス事業所・一般企業など)

- ・用語
- ・症状
- ・一般的な対応方法
- ・利用できる福祉サービス など

* 地域生活支援事業と研修会については、令和5年度より、実施予定。
* 詳細はホームページにて随時更新予定！



3. モデル事業者における地域連携事例

かがわ総合リハビリテーションセンター

地域の事業所へのヒアリング・講習会開催

●取組の背景

自立訓練終了後、復職・就職が難しい方の活動先として、就労継続支援B型に繋ぐことが多い。

●取組内容

地域の事業所のバックアップ体制を構築し、チラシを作成した。地域の就労継続支援B型・生活介護等事業所15カ所訪問し、事業のPR実施。また、高次脳機能障害の講習会を開催することで支援者同士がつながる仕組みを構築した。

●取組の成果と課題

集団適応ができない社会的行動障害のある方への支援ができていない状況を把握したことから、地域の支援者のスキル向上、関係職員に対する集合研修(基礎・事例検討)、事業所での研修会(実際に困っている事例の検討など)を実施し、バックアップ体制を強化することで、高次脳機能障害者の受け入れの幅を広げていくことが課題。

講習会

A4チラシ表面

A4チラシ裏面

Zoom 講演会 国土交通省 令和4年度自動車事故被害者支援体制等整備事業(社会復帰促進事業)

高次脳機能障害 理解と対応と対策

参加無料
事前にお申込み
ください

●対象 当事者とその家族、医療・介護・福祉・教育・行政・司法等の
各分野の支援者、高次脳機能障害に関心がある一般の方などでも

日時 令和5年 **2月4日(土)**
10:00～15:00

この講演会は、高次脳機能障害と診断された人への支援を行っている、地域の福祉事業所と連携を取り、①支援に関する相談、②支援体制の構築、③スキルアップ研修会の開催の3点をおとし、地域の高次脳機能障害者支援の普及を目的として開催されています。
(国土交通省自動車事故被害者支援体制等整備事業)

講演1では高次脳機能障害とは何かといった基本的な理解や当事者に対応していく時の方法や注意点を広く学んでいただきたいと思います。
講演2では、家庭生活、社会生活を送る際に最も悩む、家族だけでなく支援者も理解せざるを得ない社会的行動障害について理解を深め、その対応の方法について学んでいただきたいと思います。

プログラム

10:00～10:05	注意事項説明
10:05～11:35	講演1「高次脳機能障害の理解と対応 ー注意、記憶の障害を中心にー」
11:35～12:00	質疑応答
12:00～13:00	休憩
13:00～14:30	講演2
14:30～15:00	質疑応答
15:00～15:05	挨拶

講演1「高次脳機能障害の理解と対応
ー注意、記憶の障害を中心にー」
脳の働きから高次脳機能障害を概説し、その中で特に注意と記憶の障害を中心に生活や就労場面において生じうる問題とその対応について説明していきます。

講演2「社会的行動障害
ー原因を理解して対策を考えてみるー」
【講演時間】10:05～11:35 終了後、質疑応答
酒井 浩氏
監野大学医療保健学部作業療法学科 学科長・教授

講演2「社会的行動障害
ー原因を理解して対策を考えてみるー」
【講演時間】13:00～14:30 終了後、質疑応答
上田 敬太氏
京都光華女子大学医療福祉学科言語聴覚専攻 教授

●お問合せ かがわ総合リハビリテーション成人支援施設 TEL 070-5515-5035 (担当:上川)

高次脳機能障害についてのご相談は リハビリテーションセンターへ

対象 高次脳機能障害者の支援に携わるみなさま

かがわ総合リハビリテーションセンターでは、病院での診断やリハビリテーションなどの医療の提供、成人支援施設での自立訓練、就労・復職支援などの社会復帰に向けての訓練・支援の提供、福祉センターでの自動車運転支援やいきがいくつくり、専門相談窓口での各種相談など、高次脳機能障害をお持ちの方に対して総合的、専門的な支援を提供しています。

1. 地域で高次脳機能障害のある方に支援をしている皆さんをバックアップします

① **地域の事業所の皆さんに対する支援**
(就労継続支援B型事業所、就労移行支援・生活介護事業所など)

●利用されている方の中で、高次脳機能障害を原因として

- 作業手順を忘れたり注意が散漫で、なかなか定着しない
- 集中して作業に取り組むことができず、一つのことを最後まで完成させられない
- 言葉のしゃべりにくさ、物事の理解力が低下しており、うまくコミュニケーションできない
- 疲れやすく、休みがちで短時間の作業しかできない
- 些細なことでも怒ってしまい、他の利用者とのトラブルが続いている 等

上記のような状況で困っていらっしゃれば、ご連絡ください。
電話での相談やスタッフの派遣など解決に向けた支援を行います。

② **地域で相談支援に携わっている方への支援**
(地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・相談支援事業所・社会福祉協議会など)

●ご相談を受ける方やそのご家族の中で、高次脳機能障害を原因として

- 病前に比べて、できないことが多くなっており、日常生活に不便を感じている
- 疲れやすさや記憶に問題があり、病前と比べて仕事ができなくなっている
- 言葉のしゃべりにくさ、物事の理解力が低下しており、うまくコミュニケーションできない
- 些細なことでも怒ってしまい、家族が疲れてしまっている
- 本人にあった活動に結びついておらず、家で引きこもっている 等

上記のような状況で困っていらっしゃれば、ご連絡ください。
電話での相談やスタッフの派遣、現在利用しているサービス事業所等への情報提供など解決に向けた支援を行います。

国土交通省 社会復帰促進事業(地域連携支援)
地域連携支援は、高次脳機能障害と診断された人への支援を充実させることを目的とした、国土交通省のモデル事業です。
このモデル事業では、高次脳機能障害のある人への支援を行っている地域の事業所と連携をとり、支援に関する相談、支援体制の構築、スキルアップ研修会の開催を通じ、地域の高次脳機能障害者支援の普及を目的として実施される事業です。

かがわ総合リハビリテーションセンター

2. 研修会の開催や講師等を派遣します

高次脳機能障害の支援スキルの向上にむけた研修会・講演会を開催します。
また、事業所の勉強会や事例検討会への講師派遣や実際のケースでの回りごとを一緒に考えるコンサルテーションも行っています。お気軽にご連絡ください。

3. 成人支援施設で社会参加にむけたリハビリテーションを提供します

かがわ総合リハビリテーション成人支援施設では、主に病院での治療段階を終えた高次脳機能障害の方々に、家庭や地域での自立した生活にむけてのリハビリテーションを行っています。
自立訓練では、身体機能や生活能力の維持・向上、認知機能の向上、公共交通機関の利用訓練、自動車運転再開支援など、家庭や地域でより良く暮らしていくための支援をしています。
就労移行支援では、復職・就労に向けて、職業スキル・ビジネススキル・習得、職場定着支援など仕事を長く続けていくための支援をしています。
その方にあった活動につなげるためにも、対象の方をご紹介します。

自立訓練(機能訓練または生活訓練)	就労移行訓練
【基礎段階の支援】 身体機能や生活能力を高める 心身機能の回復 個別リハ(PT・OT・ST・ORT) コミュニケーション 高次脳機能障害改善	【準備段階の支援】 地域や職場で活動するための準備 外出・買い物 交通機関利用 自動車運転 職業準備訓練
【応用段階の支援】 就労や学業適応な地域生活の準備 就職・復職に向けた支援 ①パソコン操作・事務作業 ②ビジネススキル ③職場実習 ④求職活動・面接支援 ⑤就労定着支援	

家族支援

ご相談は TEL、FAX、メール等で受け付けいたします
お問合せ/お申込み **かがわ総合リハビリテーション成人支援施設**
〒761-8057 高松市田町 1114番地
TEL 087-867-8422 FAX 087-867-0420
メールアドレス seijin@kagawa-reha.net (担当:高木、上川)

申し込み用紙(ファックス用) **FAX 087-867-0420**

フリガナ お名前	所属 (お申し込みは個人、所属について記入ください)
電話番号	
メールアドレス	
相談内容 該当するものに印をつけてください。 ☐ 利用者に限って ☐ 研修会、講演会の申し込み ☐ コンサルテーションについて ☐ その他	

モデル事業者の取組における課題

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

- ネットワーク構築においては、病院から地域の事業所まで一貫した連携パスが必要であることから、連携シートを改良して相互連携をとれるようにすることが課題。
- 自立訓練において、社会的生活自立度評価を活用し、評価データの蓄積、比較・分析を進め妥当性と正確性を高めることが課題。また、サービスの質を上げていくため、高次脳機能障害者への効果的な支援方法を日々研究・開発し、報告することで社会還元していくことが課題。
- 地域連携において、地域の関係者における高次脳機能障害の理解や自立訓練の認知度が低いことから啓発事業を継続していくことが課題。

名古屋市総合リハビリテーションセンター

- ネットワーク構築において、県内66の回復期リハ病院がある中、自立訓練に対する理解度の差や限られた人員の中でどこまで広げていくかが課題。
- 自立訓練において、グループワークの取組みをその後のケースワークにつなげていく仕組みが必要であり、自立訓練所としてどのように情報提供していくかが課題。
- 地域連携において、地域の関係者が多岐にわたっており、それぞれのニーズにあわせた取組みをどのように継続していくかが課題。

奈良県障害者総合支援センター

- 医療機関において、高次脳機能障害の自立訓練を提供する福祉的支援の認識が低く、退院後の支援先として自立訓練が選択肢に上がらず、高次脳機能障害の訓練に繋がらない状況がある。自立訓練の認知度が低く、病院スタッフが支援する選択肢において、自立訓練サービスに繋がらない現状がある。
- 高次脳機能障害の理解とその支援について、リーフレットやポスターによる啓発を実施し、継続的に行なう必要がある。また、研修会を開催するなど知識を持った理解者を増やす必要がある。

かがわ総合リハビリテーションセンター

- 重度の社会的行動障害の方の支援を進めていくため、精神科領域との連携体制の構築が必要。
- 高次脳機能障害者の家族支援を検討する必要がある。
- 記憶障害や注意障害は、施設の職員であれば高次脳機能障害に関係なく、知的障害や発達障害等で対処してきた経験もあり、問題視していない状況があるが、それに対して、易怒性等の社会的行動障害は、集団での適応が問題となり、施設の利用対象者となりにくい傾向があり、精神科領域のサービスにつながっているのではないかと推察された。重度であることを理由に受け入れが進んでいない方へのアプローチが課題。

モデル事業者の取組概要 一覧表

メニュー		千葉県 千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園	名古屋市 総合リハビリテーションセンター	奈良県 障害者総合支援センター	かがわ 総合リハビリテーションセンター
ネットワーク構築	人材雇用	5名（内補助対象3名）	1名（内補助対象1名）	7名（内補助対象3名）	6名（内補助対象0名）
	求人情報発信	-	-	-	-
	パンフレット 等作成	-	1種類（1,000枚）	2種類（2,610枚）	2種類（200枚）
	備品類導入	-	-	-	-
	病院訪問	32件（延べ32回）	16件（延べ29回）	23件（延べ23回）	11件（延べ13回）
	施設見学	-	4回	-	1回
	研修	開催 参加	2件 -	- -	- -
	病院との連携方法	連携シートの活用	退院後フォローアップ支援 の実施、帰結報告会の実施	-	連絡会の開催
自立訓練提供	人材雇用	5名（内補助対象4名）	39名（内補助対象2名）	19名（内補助対象2名）	19名（内補助対象0名）
	求人情報発信	-	-	-	-
	パンフレット 等作成	-	-	2種類（4,000枚）	-
	備品類導入	-	-	-	-
	研修	開催 参加	1件 2件	- -	- 1件
地域連携	人材雇用	21名（内補助対象5名）	0名（内補助対象0名）	13名（内補助対象5名）	9名（内補助対象1名）
	求人情報発信	-	-	-	-
	パンフレット 等作成	1種類（2,500枚）	-	2種類（2,610枚）	2種類（2,100枚）
	備品類導入	-	書籍3種類	-	-
	施設等へ訪問	54件（延べ92回）	24件（延べ93回）	41件（延べ42回）	9件（延べ9回）
	研修	開催 参加	3件 -	- -	1件 1件
	その他	-	家族会2件	-	-

モデル事業者の取組詳細

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

ネットワーク構築

ネット ワーク 構築	人材雇用	3名	—
	求人情報発信費	—	—
	パンフレット等作成	—	—
	備品類導入	—	—
	病院名		所在地
	【急性期・回復期】印西総合病院（1回）		千葉県印西市牧の台1-1-1
	【回復期】タムス市川リハビリテーション病院（1回）		千葉県市川市柏井町4-229-4
	【急性期・回復期】船橋総合病院（1回）		千葉県船橋市北本町1-13-1
	【回復期】おゆみの中央病院院（1回）		千葉県千葉市緑区おゆみ野南6-49-9
	【回復期】千葉健生病院（1回）		千葉県千葉市花見川区幕張町5-392-4
	【回復期】千葉しすい病院（1回）		千葉県印旛郡酒々井町上岩崎1160-2
	【急性期・回復期】みつわ台総合病院（1回）		千葉県千葉市若葉区若松町531-486
	【急性期・回復期】千葉白井病院（1回）		千葉県白井市復1439-2
	【急性期・回復期】メディカルプラザ 平和台病院（1回）		千葉県我孫子市布佐834-28
	【回復期】北柏リハビリ総合病院（1回）		千葉県柏市柏下265
	【回復期】千葉・柏リハビリテーション病院（1回）		千葉県柏市大井2651
	【急性期・回復期】千葉愛友会記念病院（1回）		千葉県流山市鰯ヶ崎1-1
	【回復期】佐倉厚生園病院（1回）		千葉県佐倉市鐺木町320
	【回復期】長谷川病院（1回）		千葉県八街市八街に85
	【急性期・回復期】新八街総合病院（1回）		千葉県八街市八街ほ137-1
	【回復期】高根病院（1回）		千葉県山武郡芝山町岩山高堀2308-8
	【回復期】イムス佐原リハビリテーション病院（1回）		千葉県香取市口2121-1
	【急性期・回復期】医療法人吉栄会下総病院（1回）		千葉県船橋市滝台町94-22
	【急性期・回復期】東船橋病院（1回）		千葉県船橋市高根台4-29-1
	【急性期・回復期】船橋二和病院（1回）		千葉県船橋市二和東5-1-1
	【急性期・回復期】亀田総合病院（1回）		千葉県鴨川市東町975-2
	【急性期・回復期】館山病院（1回）		千葉県館山市長須賀196
	【回復期】リハビリテーション病院 さらしな（1回）		千葉県市原市更級1-5-3
	【回復期】季美の森リハビリテーション病院（1回）		千葉県大網白里市季美の森南1-30-1
	【回復期】浅井病院（1回）		千葉県東金市家徳38-1
	【急性期・回復期】九十九里病院（1回）		千葉県山武郡九十九里町片貝2700
	【回復期】船橋市立リハビリテーション病院（1回）		千葉県船橋市夏見台4-26-1531-486
	【回復期】松戸リハビリテーション病院（1回）		千葉県松戸市和名ヶ谷1009-1
	【急性期・回復期】新東京病院（1回）		千葉県松戸市和名ヶ谷1271
	【回復期】アクアリハビリテーション病院（1回）		千葉県木更津市矢那4490-5
	【急性期・回復期】袖ヶ浦さつき台病院（1回）		千葉県袖ヶ浦市長浦駅前5-21
	【回復期】東京湾岸リハビリテーション病院（1回）		千葉県習志野市谷津4-1-1
研修	開催	—	—
	参加	千葉県回りハ病棟連携の会 介護部会研修	3名

モデル事業者の取組詳細

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

自立訓練提供	人材雇用	理学療法士（3名） 作業療法士	保有資格	—
	求人情報発信	—	—	—
	パンフレット等作成	—	—	—
	備品類導入	—	—	—
	研修開催	全国障害者リハビリテーション研究集会（参加者136名）	3名	—
	研修参加	高次脳機能障害学会学術総会	2名	—
	人材雇用	5名	—	—
地域連携（1／2）	求人情報発信	—	—	—
	パンフレット等作成	全国障害者リハビリテーション研究集会2022	—	—
	備品類導入	—	—	—
	訪問先	訪問先名		所在地
		身体障害者リハビリセンターあくていぶ（1回）	千葉県木更津市潮見2-9	—
		就労移行支援事業所 リボン（3回）	千葉県市川市八幡2-16-15	—
		就労移行支援事業 ココレポート（1回）	千葉県千葉市中央区富士見2-3-1	—
		就労移行支援事業所 Re café（1回）	千葉県千葉市中央区中央3-5-1	—
		就労継続B型事業所 オリーブ亥鼻（1回）	千葉県千葉市中央区亥鼻2-10-16	—
		就労継続B型事業所 きらり（1回）	千葉県千葉市中央区浜野町684-1	—
		就労継続B型事業所 りべるたす（2回）	千葉県千葉市中央区川戸町468-1	—
		就労継続B型事業所 イロドリ（4回）	千葉県千葉市緑区おゆみ野3-25-2	—
		就労継続B型事業所 トミオヴィレッジ（2回）	千葉県千葉市若葉区高品町296-1	—
		就労継続B型事業所 フォロー（1回）	千葉県市原市五井中央東1-15-25	—
		就労継続B型事業所 ワークジョイ松戸（2回）	千葉県松戸市金ケ作277-4	—
		就労継続A型事業所 きらり（2回）	千葉県千葉市中央区浜野町684-1	—
		就労継続A型事業所 ユナイトライフ（1回）	千葉県白井市十倉一字31-2	—
		就労継続A型事業所 あらた稲毛海岸（1回）	千葉県千葉市美浜区高洲3-14-4	—
		就労継続A型事業所 FLAP（1回）	千葉県市原市君塚1-8-3	—
		就労継続A型事業所 BROTHER（1回）	千葉県市原市五井中央西2-2-1	—
		就労継続A型事業所 SKY（1回）	千葉県千葉市中央区富士見2-15-1	—
		就労継続A型事業所 アークサポート（1回）	千葉県千葉市中央区中央2-3-16	—
		就労継続A型事業所 スマイルカンパニー（1回）	千葉県市原市五井2442-1	—
		就労継続A型事業所 トラット（2回）	千葉県千葉市若葉区西都賀3-9-1	—
		生活介護事業所 コスモビレッジ（1回）	千葉県八街市滝台739-3	—
		障害者支援施設 永幸苑（1回）	千葉県四街道市上野199	—
		グループホーム ひだまりの家（1回）	千葉県千葉市若葉区源町175-3	—
		グループホーム MGスタイル（3回）	千葉県千葉市稲毛区園生町	—
		グループホーム ふわふわ八千代島田台（1回）	千葉県八千代市島田台1190-14	—
		グループホーム はるの家柏（4回）	千葉県柏市富里3-1-41	—
		グループホーム コデマリハウス（県外）（1回）	東京都西東京市東伏見4-1-11	—

モデル事業者の取組への補助詳細

千葉県千葉リハビリテーションセンター 障害者支援施設 更生園

地域連携(2/2)	訪問先	訪問先名	—
		グループホーム momo'sハウス（1回）	千葉県柏市逆井2-7-7
		グループホーム 星のいえ（1回）	千葉県千葉市中央区南生実町51-2
		グループホーム ライラック（県外）（2回）	東京都西東京市東伏見5-2-8 105
		グループホーム リべるたす（2回）	千葉県千葉市中央区川戸町468-1
		グループホーム ビートルケア鎌取（1回）	千葉県千葉市緑区平山町2019-1
		グループホーム エッセンス都賀（1回）	千葉県千葉市若葉区若松町489-1
		グループホーム ビーハック（1回）	千葉縣市川市奉免町
		グループホーム みるくの家（2回）	千葉県松戸市五香6-15-1
		グループホーム サポートヴィラさつきが丘（1回）	千葉県千葉市花見川区畑町522-2
		千葉市就業・生活支援センター（4回）	千葉県千葉市美浜区新港43
		千葉県障害者職業センター（10回）	千葉県千葉市美浜区幸町1-1
		千葉市社会福祉協議会美浜区事務所（2回）	千葉県千葉市美浜区真砂5-15-2
		利用者復職先一般企業 A（4回）	—
		利用者復職先一般企業 B（2回）	—
		利用者復職先一般企業 C（2回）	—
		障害者高等技術専門学校（3回）	千葉県千葉市緑区大金沢町470
		特別支援学校等11箇所（各1回）	—
研修	開催	—	—
	参加	サービス管理責任者更新研修	3名

モデル事業者の取組詳細

名古屋市総合リハビリテーションセンター

ネットワーク構築

人材雇用		1名	
求人情報発信		—	—
パンフレット等作成		ご相談カード	1000枚
備品類導入			
訪問先		病院名	所在地
		【回復期】あずまりハビリテーション病院（1回）	愛知県名古屋市港区入船2-1-15
		【回復期】偕行会リハビリテーション病院（1回）	愛知県弥富市神戸5-20
		【回復期】白山リハビリテーション病院（4回）	愛知県春日井市庄名町1011-25
		【回復期】済生会リハビリテーション病院（4回）	愛知県名古屋市西区栄生1-1-18
		【回復期】鶴飼リハビリテーション病院（1回）	愛知県名古屋市中村区太閤通4-1
		【回復期】善常会リハビリテーション病院（6回）	愛知県名古屋市南区松池町1-11
		【回復期】加藤病院（2回）	愛知県名古屋市千種区末森通2-15
		【急性期】名古屋市立大学病院（2回）	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1
		【回復期】三九朗病院（1回）	愛知県豊田市小坂町7-80
		【回復期】さくら総合病院（1回）	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129
		【回復期】宇野病院（1回）	愛知県岡崎市中岡崎町1-10
		【急性期・回復期】総合大雄会病院（1回）	愛知県一宮市桜1-9-9
		【回復期】津島リハビリテーション病院（1回）	愛知県津島市南新開町1-114
		【回復期】メイトウホスピタル（1回）	愛知県名古屋市名東区上社3-1911
		【急性期・回復期】藤田医科大学病院（1回）	愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
		【急性期】中京病院（1回）	愛知県名古屋市南区三条1-1-10
研修	開催	心理検査研修（基礎編・応用編） 高次脳機能障害支援者養成研修＜基礎編＞	参加者101名 参加者35名
	参加	—	—
施設見学		4回	

自立訓練提供

人材雇用		保有資格	
		理学療法士（2名）	
求人情報発信		—	—
パンフレット等作成		—	—
備品類導入		—	—
研修	開催	高次脳機能障害学会学術総会	1名
	参加	日本リハビリテーション連携科学学会	2名

モデル事業者の取組詳細

名古屋市総合リハビリテーションセンター

地域連携

地域連携	人材雇用		—	—
	求人情報発信		—	—
	パンフレット等作成		—	—
	備品類導入	認知機能・職業能力・対人関係スキル訓練指導マニュアル	20冊	
		高次脳機能障害のある人の地域生活	30冊	
		高次脳機能障害のある人に”伝わる説明”便利帖	30冊	
	訪問先	訪問先名		所在地
		守山区障害者基幹相談支援センター（2回）		名古屋市守山区桜坂4-111
		日進市社会福祉協議会（1回）		愛知県日進市蟹甲町中島22番地
		日進市障害者相談支援センター（3回）		愛知県日進市竹の山四丁目301番地
		半田市障がい者相談支援センター（2回）		愛知県半田市雁宿町1-22-1
		大府市障がい者相談支援センタースピカ（1回）		愛知県大府市江端町六丁目13番地の1
		豊明市障がい者基幹相談支援センターフィット（2回）		愛知県豊明市新田町吉池18-3
		岡崎市障がい者基幹相談支援センター（1回）		愛知県岡崎市欠町字清水田6番地3
		愛知障害者職業センター（4回）		愛知県名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見5階
		なごや障害者就業・生活支援センター（2回）		愛知県名古屋市北区大曾根二丁目9-25
		障害者就業・生活支援センターくるくる（3回）		愛知県刈谷市新栄町7-73 フラワービル3F
		くらし・はたらく相談センター（1回）		愛知県みよし市三好町湯ノ前4-5
		知多地域障害者就業・生活支援センター「ワーク」（1回）		愛知県知多郡東浦町大字緒川字寿久茂129
		ハローワーク名古屋東（2回）		愛知県名古屋市名東区平和が丘1-2
		名古屋市健康福祉局障害企画課（2回）		愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
		名古屋市健康福祉局障害者支援課（2回）		愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
		愛知県障害福祉課（5回）		愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
		愛知県警察運転免許試験場（1回）		愛知県名古屋市天白区平針南3-605
		高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓（1回）		愛知県豊橋市花田一番町72番地 東和西駅前マンション101号室
		高次脳機能障害友の会 みずほ（2回）		愛知県名古屋市中区平和2-3-10 仙田ビル
		愛知県言語聴覚士会（13回）		愛知県中区千代田3-27-11
		あなたの声（25回）		愛知県名古屋市名東区若葉台1325
		愛知県失語症友の会連合会（13回）		なし
		ドリーム（3回）		愛知県名古屋市中区錦2丁目13-24先 地下1階31番14号
		港区西部いきいき支援センター分室（2回）		愛知県名古屋市港区知多二丁目2215 レーブエル1階
研修	開催	高次脳機能障害支援者養成研修＜基礎編＞※再掲		参加者35名
		基幹相談支援センター等職員向け研修		参加者39名
		自動車運転再開支援学習会		参加者162名
	参加	—		—
家族会	キッズプラス（1回）			
	働く仲間の集い（2回）			

モデル事業者の取組詳細

奈良県障害者総合支援センター

ネットワーク構築

ネットワーク構築	人材雇用		3名	
	求人情報発信		—	—
	パンフレット等作成		こんな症状はありませんか？（A4三折）	2,610枚
	備品類導入			
	訪問先	病院名		所在地
		【回復期】奈良医療センター（1回）		奈良県奈良市七条2-789
		【急性期・慢性期】友誼会病院（1回）		奈良県北葛城郡服部台5-2-1
		【急性期】奈良県立医科大学附属病院（1回）		奈良県橿原市四条町840
		【急性期・回復期】阪奈中央病院（1回）		奈良県生駒市俵口町741
		【急性期】恵王病院（1回）		奈良県北葛城郡王寺町王寺2-10-18
		【急性期・回復期】高の原中央病院（1回）		奈良市右京1-3-3
		【急性期・回復期】南奈良総合医療センター（1回）		奈良県吉野郡大淀町大字福神8-1
		【急性期】奈良県総合医療センター（1回）		奈良市七条西町2-897-5
		【急性期】倉病院（1回）		奈良県生駒市本町1-7
		【急性期】生駒市立病院（1回）		奈良県生駒市東生駒1-6-2
		【急性期・回復期】大和高田市立病院（1回）		奈良県大和高田市磯野北町1-1
		【急性期・回復期】平成記念病院（1回）		奈良県橿原市四条町827
		【回復期】西大和リハビリテーション病院（1回）		奈良県北葛城郡上牧町ささゆり台3-2-2
		【急性期・回復期】西奈良中央病院（1回）		奈良市鶴舞西町1-15
		【急性期】奈良県西和医療センター（1回）		奈良県生駒郡三郷町三室1-14-16
		【急性期】市立奈良病院（1回）		奈良市東紀寺町1-50-1
		【急性期・回復期・慢性期】西の京病院（1回）		奈良市六条町102-1
		【急性期・慢性期】天理よろづ相談所病院（1回）		奈良県天理市三島町200
		【急性期・回復期】済生会奈良病院（1回）		奈良市八条4-643
		【急性期】石州会病院（1回）		奈良市四条大路1-9-4
		【慢性期】奈良春日病院（1回）		奈良市鹿野園町1212-1
		【急性期・回復期】宇陀市立病院（1回）		奈良県宇陀市榛原萩原815
		【回復期】ならまちリハビリテーション病院（1回）		奈良県奈良市杉ヶ町57-1
研修	開催		—	—
	参加		—	—

モデル事業者の取組詳細

奈良県障害者総合支援センター

自立訓練提供

地域連携(1/2)

		保有資格	
自立訓練提供	人材雇用	心理士	
		作業療法士	
	求人情報発信	—	—
	パンフレット等作成	高次脳機能障害に特化した生活訓練（A4三折）	2,000枚
		身体機能障害に特化した機能訓練（A4三折）	2,000枚
	備品類導入	—	—
	研修	開催	—
		参加	—
地域連携(1/2)	人材雇用	—	—
	求人情報発信	—	—
	パンフレット等作成	高次脳機能障害の地域生活支援事業（A4三折）	2,610枚
	備品類導入	—	—
	訪問先	訪問先名	所在地
		相談支援事業所 はあと（1回）	奈良県大和郡山市植槻町3-8 社会福祉会館内
		相談支援事業所 りんく（1回）	奈良県大和郡山市植槻町3-8 社会福祉会館内
		相談支援事業所 ふらっと（1回）	奈良県大和郡山市植槻町3-8 社会福祉会館内
		自立訓練事業所（生活訓練） ラリーゲインズケアセンター・Healing Care Center（2回）	奈良県大和高田市東中2-10-18
		自立訓練事業所（生活訓練）ならサポートワークラボ（1回）	奈良市山陵町110-7
		自立訓練事業所（生活訓練）大淀園（1回）	奈良県吉野郡大淀町下湊1135-1
		自立訓練事業所（生活訓練）りべるて（1回）	奈良市西大寺赤田町1-5-53
		自立訓練事業所（生活訓練）サポートセンター夢（1回）	奈良市六条西4-6-3
		自立訓練事業所（生活訓練）ふきのとう（1回）	奈良県天理市柳本町2036-1
		自立訓練事業所（生活訓練）ジョイアススクールつなぎ（1回）	奈良市南京終町7-540-5
		自立訓練事業所（生活訓練）ぽけっと（1回）	奈良県北葛城郡王寺町久度3-14-7
		自立訓練事業所（生活訓練）FLOWER GARDEN（1回）	奈良県橿原市上品寺町370-22
		自立訓練事業所（生活訓練）アースカラーズぷろぼの（1回）	奈良県橿原市北八木町1-1-8
		自立訓練事業所（生活訓練）元氣の里 青空（1回）	奈良市三条添川町2-8 KBKビル3F
		自立訓練事業所（生活訓練）ぷろぼの新大宮（1回）	奈良市大宮町3-5-11
		自立訓練事業所（生活訓練）HIRAKUWORK大和郡山（1回）	奈良県大和郡山市小泉町東1-8-7
		相談支援事業所 相談支援センター 心境（1回）	奈良県宇陀市榛原笠間2540
		奈良市役所	奈良県奈良市二条大路南1-1-1
		大和高田市役所	奈良県大和高田市大字大中98-4
		大和郡山市役所	奈良県大和郡山市北郡山町248-4
		天理市役所	奈良県天理市川原城町605
		御所市役所	奈良県御所市1-3
		生駒市役所	奈良県生駒市東新町8-38
		香芝市役所	奈良県香芝市本町1397

モデル事業者の取組詳細

奈良県障害者総合支援センター

地域連携(2/2)

		訪問先名	
訪問先		葛城市役所	奈良県葛城市柿本166
		宇陀市役所	奈良県宇陀市榛原下井足17-3
		斑鳩町役場	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西3-7-12
		安堵町役場	奈良県生駒郡安堵町大字東安堵958
		川西町役場	奈良県磯城郡川西町大字結崎28-1
		三宅町役場	奈良県磯城郡三宅町大字伴堂689
		田原本町役場	奈良県磯城郡田原本町890-1
		高取町役場	奈良県高市郡高取町観覚寺990-1
		明日香村役場	奈良県高市郡明日香村大字橘21
		王寺町役場	奈良県北葛城郡王寺町王寺2-1-23
		広陵町役場	奈良県北葛城郡広陵町大字南郷583-1
		吉野町役場	奈良県吉野郡吉野町大字上市80-1
		大淀町役場	奈良県吉野郡大淀町大字桧垣本2090
		下市町役場	奈良県吉野郡下市町大字下市1960
		黒滝村役場	奈良県吉野郡黒滝村大字寺戸77
		天川村役場	奈良県吉野郡天川村大字沢谷60
		東吉野村役場	奈良県吉野郡東吉野村大字小川99
研修	開催	—	—
	参加	—	—

モデル事業者の取組詳細

かがわ総合リハビリテーションセンター

ネットワーク構築	人材雇用		—	—
	求人情報発信		—	—
	パンフレット等作成		事故や脳卒中などで脳にダメージを受けた患者様、ご家族様へ	100枚
			高次脳機能障害者に対するフォローアップ支援のご案内	100枚
	備品類導入		—	—
	訪問先病院		病院名	所在地
			【急性期・回復期】回生病院（1回）	香川県坂出市室町3-5-28
			【急性期・回復期】りつりん病院（1回）	香川県高松市栗林町3-5-9
			【急性期】香川県立中央病院（1回）	香川県高松市朝日町1-2-1
			【急性期・回復期】高松市立みんなの病院（1回）	香川県高松市仏生山町甲847-1
			【急性期・回復期】香川県済生会病院（1回）	香川県高松市多肥上町1331-1
			【急性期・回復期】さぬき市民病院（1回）	香川県さぬき市寒川町石田東甲387-1
			【急性期・回復期】おさか脳外科病院（1回）	香川県高松市三名町378-1
			【急性期・回復期】附属三宅リハビリテーション病院（1回）	香川県高松市天神前5-5
			【急性期・回復期】高松協同病院（2回）	香川県高松市木太町4664
			【急性期・回復期】キナシ大林病院（2回）	香川県高松市鬼無町藤井435-1
			【急性期・回復期】屋島総合病院（1回）	香川県高松市屋島西町1857-1
自立訓練提供	研修	開催	—	—
		参加	—	—
	人材雇用		保有資格	
	求人情報発信		—	—
	パンフレット等作成		—	—
	備品類導入		—	—
	研修	開催	—	—
		参加	千葉県千葉リハビリテーションセンター視察 広島市総合リハビリテーションセンター視察	1名 2名

モデル事業者の取組詳細

かがわ総合リハビリテーションセンター

地域連携	人材雇用	1名	—
	求人情報発信	—	—
	パンフレット等作成	高次脳機能障害理解と対応と対策	2000枚
		高次脳機能障害についてのご相談はリハビリテーションセンターへ	100枚
	備品類導入	—	—
	訪問先	訪問先名	所在地
		障害福祉サービス事業所ええる（B型）（1回）	香川県高松市御厩町998-2
		朝日園（A型・B型・生活介護）（1回）	香川県木田郡三木町池戸931-6
		朝日平成園（B型）（1回）	香川県高松市前田東町585-21
		ハッピービーンズ（B型）（1回）	香川県高松市十川東町65-2
		こむぎ（B型）（1回）	香川県高松市香南町吉光1110-2
		三愛（B型）（1回）	香川県丸亀市柞原町185-1
		高松市地域包括支援センター（1回）	香川県高松市桜町1-9-12号 保健センター1階
		丸亀市社会福祉協議会（1回）	香川県丸亀市大手町2-1-7 丸亀市保健福祉センター内
		丸亀市地域包括支援センター（1回）	香川県丸亀市大手町2-4-21 庁舎2階
	研修開催	高次脳機能障害研修会（参加者78名）	2名
	研修参加	千葉県千葉リハビリテーションセンター視察	2名
		広島市総合リハビリテーションセンター視察	1名